

## 【表紙】

【提出書類】	公開買付報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2026年4月1日
【報告者の氏名又は名称】	株式会社BCJ-102
【報告者の住所又は所在地】	東京都千代田区丸の内一丁目1番1号 パレスビル5階
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区丸の内一丁目1番1号 パレスビル5階
【電話番号】	03-6212-7070
【事務連絡者氏名】	代表取締役 杉本 勇次
【代理人の氏名又は名称】	該当事項はありません。
【代理人の住所又は所在地】	該当事項はありません。
【最寄りの連絡場所】	該当事項はありません。
【電話番号】	該当事項はありません。
【事務連絡者氏名】	該当事項はありません。
【縦覧に供する場所】	株式会社BCJ-102 (東京都千代田区丸の内一丁目1番1号 パレスビル5階) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

(注1) 本書中の「公開買付者」とは、株式会社BCJ-102をいいます。

(注2) 本書中の「対象者」とは、株式会社INFORICHをいいます。

(注3) 本書中の記載において、計数が四捨五入又は切捨てされている場合、合計として記載される数値は必ずしも計数の総和と一致しません。

(注4) 本書中の「法」とは、金融商品取引法(昭和23年法律第25号。その後の改正を含みます。)をいいます。

(注5) 本書中の「令」とは、金融商品取引法施行令(昭和40年政令第321号。その後の改正を含みます。)をいいます。

(注6) 本書中の「府令」とは、発行者以外の者による株券等の公開買付けの開示に関する内閣府令(平成2年大蔵省令第38号。その後の改正を含みます。)をいいます。

(注7) 本書の提出に係る公開買付け(以下「本公開買付け」といいます。)は、法で定められた手続及び情報開示基準に従い実施されるものです。

(注8) 本書中の「株券等」とは、株式及び新株予約権に係る権利をいいます。

(注9) 本書中の記載において、日数又は日時の記載がある場合は、特段の記載がない限り、日本国における日数又は日時を指すものとしします。

(注10) 本書中の「営業日」とは、行政機関の休日に関する法律(昭和63年法律第91号。その後の改正を含みます。)第1条第1項各号に掲げる日を除いた日をいいます。

## 1【公開買付けの内容】

### (1)【対象者名】

株式会社INFORICH

### (2)【買付け等に係る株券等の種類】

普通株式

新株予約権（以下( )乃至( )を総称して以下「本新株予約権」といいます。）

- ( ) 2019年3月15日開催の取締役会の決議に基づき発行された第4回新株予約権（行使期間は2021年3月16日から2029年3月16日まで）
- ( ) 2019年3月15日開催の取締役会の決議に基づき発行された第5回新株予約権（行使期間は2019年3月16日から2029年3月15日まで）
- ( ) 2019年3月15日開催の取締役会の決議に基づき発行された第6回新株予約権（行使期間は2019年3月16日から2029年3月15日まで）
- ( ) 2021年10月29日開催の取締役会の決議に基づき発行された第8回新株予約権（行使期間は2023年11月2日から2031年11月2日まで）
- ( ) 2022年10月13日開催の取締役会の決議に基づき発行された第12回新株予約権（行使期間は2024年4月1日から2034年10月30日まで）
- ( ) 2022年10月13日開催の取締役会の決議に基づき発行された第13回新株予約権（行使期間は2024年4月1日から2034年10月30日まで）
- ( ) 2022年10月13日開催の取締役会の決議に基づき発行された第14回新株予約権（行使期間は2024年4月1日から2034年10月30日まで）

### (3)【公開買付期間】

2026年2月16日（月曜日）から2026年3月31日（火曜日）まで（30営業日）

## 2【買付け等の結果】

### (1)【公開買付けの成否】

本公開買付けにおいては、本公開買付けに応募された株券等（以下「応募株券等」といいます。）の数の合計が買付予定数の下限（6,042,900株）に満たない場合は、応募株券等の全部の買付け等を行わない旨の条件を付しておりましたが、応募株券等の数の合計（9,027,914株）が買付予定数の下限（6,042,900株）以上となりましたので、公開買付開始公告（その後変更された事項を含みます。）及び公開買付届出書（その後提出された公開買付届出書の訂正届出書により訂正された事項を含みます。）に記載のとおり、応募株券等の全部の買付け等を行います。

### (2)【公開買付けの結果の公告日及び公告掲載新聞名】

法第27条の13第1項の規定に基づき、令第9条の4及び府令第30条の2に規定する方法により、2026年4月1日に、本公開買付けの結果を報道機関に公表いたしました。

### (3)【買付け等を行った株券等の数】

株券等の種類	株式に換算した応募数	株式に換算した買付数
株券	8,658,884（株）	8,658,884（株）
新株予約権証券	369,030	369,030
新株予約権付社債券	-	-
株券等信託受益証券（ ）	-	-
株券等預託証券（ ）	-	-
合計	9,027,914	9,027,914
（潜在株券等の数の合計）	（369,030）	（369,030）

(4)【買付け等を行った後における株券等所有割合】

区分	議決権の数
報告書提出日現在における公開買付者の所有株券等に係る議決権の数(個)(a)	90,279
aのうち潜在株券等に係る議決権の数(個)(b)	3,690
bのうち株券の権利を表示する株券等信託受益証券及び株券等預託証券に係る議決権の数(個)(c)	-
報告書提出日現在における特別関係者の所有株券等に係る議決権の数(個)(d)	15,539
dのうち潜在株券等に係る議決権の数(個)(e)	-
eのうち株券の権利を表示する株券等信託受益証券及び株券等預託証券に係る議決権の数(個)(f)	-
対象者の総株主等の議決権の数(2025年12月31日現在)(個)(g)	97,920
買付け等後における株券等所有割合 ( $(a+d)/(g+(b-c)+(e-f)) \times 100$ )(%)	101.03

(注1) 「報告書提出日現在における特別関係者の所有株券等に係る議決権の数(個)(d)」は、特別関係者(ただし、特別関係者のうち法第27条の2第1項各号における株券等所有割合の計算において府令第3条第2項第1号に基づき特別関係者から除外される者を除きます。)が所有する株券等(特別関係者である秋山広宣氏(以下「秋山氏」といいます。)とEQUITIES FIRST HOLDINGS LLCと(以下「EF」といいます。)の間の貸株取引(以下「本貸株取引」といいます。)により秋山氏がEFに対し貸し付けており、本貸株取引が解約された場合に秋山氏が返還を受ける対象者の普通株式(以下「対象者株式」といいます。)613,900株(以下「本貸株返還株式」といいます。)を含みます。)に係る議決権の数の合計を記載しております。一方で、本貸株返還株式についても本公開買付けの対象としていたため、「報告書提出日現在における公開買付者の所有株券等に係る議決権の数(個)(a)」には、本貸株返還株式に係る議決権の数が含まれている可能性があります。

(注2) 「対象者の総株主等の議決権の数(2025年12月31日現在)(個)(g)」は、対象者が2026年3月16日に提出した第11期有価証券報告書(以下「対象者有価証券報告書」といいます。)に記載された総株主の議決権の数(1単元の株式数を100株として記載されたもの)です。ただし、単元未満株式(ただし、対象者が所有する単元未満の自己株式を除きます。)及び本新株予約権の行使により発行又は移転される可能性のある対象者株式についても本公開買付けの対象としていたため、「買付け等後における株券等所有割合」の計算においては、対象者有価証券報告書に記載された2025年12月31日現在の発行済株式総数(9,820,645株)に、対象者から報告を受けた同日現在残存し行使可能な本新株予約権78,699個の目的となる対象者株式の数(653,895株)を加算した株式数(10,474,540株)から、対象者有価証券報告書に記載された同日現在の対象者が所有する自己株式数(152株)を控除した株式数(10,474,388株)に係る議決権数(104,743個)を分母として計算しております。

(注3) 「買付け等後における株券等所有割合」は、小数点以下第三位を四捨五入しております。

(5)【あん分比例方式により買付け等を行う場合の計算】

該当事項はありません。